



安心で確実な
インプラント治療のために

ヨシダ歯科 院長 吉田松平(よしだ しょうへい)

ヨシダ歯科 小冊子

～前章～

院長からのあいさつ



みなさん、はじめまして！

ヨシダ歯科院長の吉田松平(よしだ しょうへい)です。

突然ですが、**みなさんにとって歯医者さんとはどのような存在ですか？**

「むし歯など痛みを感じたときの駆け込み寺」

「注射や機械音、薬品の臭いがイヤで出来れば避けたい場所」

「入れ歯やブリッジが痛くてしぶしぶ通うところ」

など、**ネガティブなお答え**が多く聞こえてきますね。

みなさんにとっても、私たち歯科医にとっても、

「歯は治療しないのが一番！」

確かにこれがもっとも素晴らしいことです。

しかし、治さなくてもよいという意味ではありません。

「しっかり予防を行い治療しないでいい健康な歯を維持すること」

が、苦手な歯医者へ通わずに済む一番の方法です。

それでも、すでに歯を失ってしまっていたり、骨がボロボロになってしまっていたり、そもそも噛み合わせが悪かったりと、今現在治療を余儀なくされて、お悩みの方も多いことでしょう。

特に、この小冊子を手にとって下さった方は、少なからずご自分の歯に悩みを抱いていたり、失ってしまった歯の治療法をお探しなのではないでしょうか。

『歯で困らない人生を送るには…』

『歯をしっかり治してずっと健康に』

『できるだけ歯を削らず最小限の治療で最大の効果を』

『80歳になっても20歳の人と同じ物が自分の歯で食べられるように…』

こんな思いに限りなく応えられる有効な治療法がインプラント治療です。

しかし一言でインプラント治療といっても、その治療法や種類、医師の技術はさまざま。この小冊子では、最新のインプラント治療の真価、医院選びのコツなどを**実際の症例を交えて具体的に紹介していきたい**と思います。

手に取ってくださったあなたが、後悔しない安全で確実なインプラントに出会い、にっこり笑顔で治療を終えられることを心から願っております。

ひとりでも多くの方に希望の光が射し、幸せな人生となりますように。

2010年6月

吉田松平

～1章～

インプラントをお薦めする理由



歯は年を重ねると自然に衰えて失われてしまうものだと思いませんか？

高齢の方に入れ歯やブリッジが多いからといって、歯の損失は決して老化現象のせいではありません。

歯ぐきが痩せて歯が弱くなるのは、歯周病やむし歯、噛み合わせの不調が原因なのです。

仕事や家事の忙しさ、様々なストレス、喫煙、嗜好品の摂取など、大人になればなるほど、お口の中のメンテナンスがないがしろになり、口内環境を悪化させていきます。

このような状況が歯周病やむし歯を進行させ、年を重ねるごとに徐々に歯や歯ぐきを衰えさせてしまっているのです。

一番の対処法は、治療の後のメンテナンスです。

痛みや不具合がなくとも、定期的に検診を受け、毎日の口内ケアをきちんと行うことがとても大切だと、私自身毎日治療をしながらあらためて実感しています。もっと言えば、10代で機能的で理想的な歯並びにして、しかもメンテナンスの習慣がしっかりしていれば、

むし歯や歯周病は、ほぼ防げると言っても過言ではありません。

このように「予防」は最も大事な治療なのですが、実際にすでに歯を失ってしまった方、入れ歯やブリッジが痛くて悩んでいらっしゃる方にはどんな治療法があるのでしょうか。

近年では、失った歯の苦しみから解放され、豊かな食生活を送れると「**インプラント治療**」が広く認知され、一般の歯科治療として定着してきました。

インプラントは科学的に裏付けされた術式によって、骨に直接埋入するため、入れ歯やブリッジのように、歯ぐきの劣化に影響を受たり、違和感を覚えることなく使用できる画期的な治療法です。

きちんとしたインプラント治療が行われれば、安全でしかも最大の効果が得られるとても素晴らしい治療方法だと言えるでしょう。

先日、とあるインプラントの講習会に参加したのですが、とても印象的な症例がありました。

ショートインプラントで上下 6 本ずつの症例だったのですが、お世辞にも上手な症例ではなく、最初はなんでこんなものが…と思ったのです。

実はなんとそれは世界で **2 番目に埋入されたインプラントの症例**でした。インプラントを埋入して、今年で 42 年目。患者さんもお存命で、元気に生活しているとの事だったので。

基本を大事に行えばなんの問題もなく、その人の人生を一生サポートする事ができる。

「インプラントは素晴らしい！！」と実感した瞬間でした。

また、最近では、すでにインプラントを入れている方が寝たきりになってしまった場合、入れ歯に比べて格段にお口の管理がしやすいとの報告がありました。

入院をしてしまうと、ほとんどの場合管理のため入れ歯が外されてしまい、そこから噛み合わせが壊れ、ひいては嚥下障害が起きやすくなっていたのです。それに比べてインプラントは自分でお食事がとても取りやすく、病院側も管理がしやすくなったというわけです。

一方、勢いよく広まったまだまだ発展途上の技術ともいえます。施術する歯科医の知識や技術も多岐に渡っています。

そのため、十分なインプラント診査、インプラント診断やインプラント治療計画がたてられないまま、安易にインプラント治療を行うと取り返しのつかないことになりかねません。**ご自分が納得できるまで医師と話し合って決定することが不可欠です。**



～2章～ インプラントについて



インプラントは、1965年、スウェーデンの学者・ブローネマルク教授が開発した技術です。
顎の骨にチタン製の人工の歯根を埋め込み、それを土台にして人工の歯を装着します。

入れ歯やブリッジのようにとなりの歯を削らないので、ほかの健康な歯に負担がかから
ず**耐久性、審美性、機能性のいずれにおいてもとても優れた最新の治療法**です。

治療を受けた約90%の方が、10年以上自分の歯と変わりなく機能していると報告されて
います。

症例実績が上がるとともに科学的に認められ、安全性も確立されたため、現在では世界
中の歯科医療でさらなる研究が進められています。

—インプラントのメリット・デメリット—

入れ歯やブリッジに比べて、健康な歯を傷つけずに、違和感なく、しっかり噛めるようになるなどのメリットの多いインプラントですが、その一方で、手術や費用面など、いくつかの**デメリット**もあります。

どんなにインプラントを希望されていても、お口の中の状態によって別の治療法が有効な場合があります。まずはインプラントのメリットとデメリットをきちんと把握しましょう。

=インプラントのメリット=

① 違和感や不快感がほとんどない

インプラントが骨に密着しているため、天然歯と変わらない感覚を再現できます。入れ歯の違和感や痛みでやわらかいものしか食べられないと悩んでいた方も、ご自分の歯を取り戻したように食事を楽しむことができます。

また、顎を動かしやすいのでしゃべりやすくなります。

② 味覚を取り戻せる

入れ歯と歯ぐきの上に食べカスが挟まったり、咀嚼自体がしづらかった方も噛み合わせのあったインプラントにすることで、物がよく噛めるようになり、味覚を取り戻せます。よく噛めることで、食事をより美味しく感じられます。

③ 見た目が美しくなる

入れ歯やブリッジのように金属が見えることがなく、かぶせものの色や形を自分の歯と合わせることができるので、見た目をきれいに保つことができます。人前で取り外すなどの精神的不安も解消してくれます。

④ 歯の寿命が長くなる

インプラントは周りの歯を削ることがないので、天然歯に負担をかけず健康なまま保つことができます。

また、顎の骨やメンテナンスの状態にもよりますが、これまでの症例から、治療を行った約90%の方のインプラントは10年以上機能しています。

=インプラントのデメリット=

① 手術が必要

インプラントは外科手術を行います。ただでさえ歯科治療が苦手という方は、恐怖に感じるかもしれませんが、抜歯をするのとほとんど変わりありません。もちろん、局部麻酔をかけて行いますので、手術中に痛みを感じることはほとんどないでしょう。

手術が終わった後の痛みも個人差はありますが、親知らずを抜いた程度と御想像ください。軽い腫れが出る場合もありますが、通常3日から7日で元の状態に戻ります。

当院では、痛みを最小限にできる、コンピューター制御の麻酔注射器を使用しています。

インプラント治療に対する恐怖感が強い方には希望により麻酔専門医による静脈内鎮静法も行っております。

② 保険が適用されない

残念ながら、現在の制度ではインプラント治療は保険適用対象外となっています。そのため、歯科医院によって治療費に差があり、適正価格が不明瞭となっているのが現状です。

診療代金や手術料、インプラントの土台、かぶせものと、あらかじめ料金を明確に提示し、その内訳を説明してくれる歯科医院を選びましょう。

また、医療控除の提案やローンを組めるなど、患者さまの負担を最小限にしているかどうかもポイントです。

③ 治療期間が長い

顎の骨の状態や、インプラントを入れる本数によって異なりますが、インプラント埋入から2ヶ月ほどの結合安定期間を経て、かぶせものを装着します。

その後、1ヶ月～6ヶ月に1度メンテナンスを行います。

また、骨の状態がよければ、抜歯と同時にインプラントを埋入することも可能です。(即時抜歯埋入法)お口の条件がいい患者さまはそのまま仮歯を装着できます。

ただし初期固定にテクニックを要する治療法ですので、実績の確かな医師にご相談されることをおすすめします。

～3章～

インプラントで大事なことについてと 当院のインプラント治療のこだわり



前章で把握していただいたインプラントのメリットとデメリットをふまえて、みなさん、安全で確実なインプラント治療のできる**歯科医院選びがとても重要だと感じられたのではないのでしょうか。**

インターネットを検索すれば何万件もヒットするインプラント治療の歯科医院。

歯科医院の数だけ**治療法があるといっても過言ではないかもしれません。**

私が歯科医療に従事して16年。これまでたくさんの患者さまと接してきて、医師としてだけでなく、患者さまの目線で治療を行うことがとても大切なことだと実感してきました。

日々進化する歯科医療を自分の目で確かめ、確かな技術を取り入れていくとともに、いつも患者さまとはフランクに、そして誠実に向き合っていきたいと考えています。

いい歯科医院になるには、医師と患者さまが心置きなくコミュニケーションを取れるかどうかにかかっていると思います。

もちろん安全な設備の医院づくりと医師の正確な技術は不可欠です。

僭越ですが、私がインプラント治療を含め歯科医として大事にしていることを少しお話しさせていただきます。

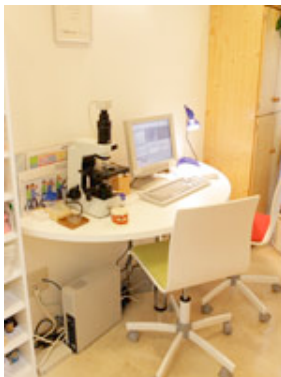
あなたの歯科医院選びの参考になれば幸いです。

① 治療はカウンセリングが命

時間がかかっても、痛みの原因や患者さまのライフスタイル、治療への希望や不安をこまかくお話すことで、どんな治療ができるのか、すべての可能性を提案するために、カウンセリングはとても大切な治療の一部だと考えています。

小さな部屋ですが、カウンセリングルームを作ってよかったですと
感じる今日この頃です。

普段の治療の時間には、とても治療説明にける時間が足りない事もあって、昨年
から治療が終わった後に治療に関するお話を
する無料相談の時間をとらせて頂いています。



その際、必要があって治療用のチェアでお話をさせて頂く事も多いのですが、どうも話
しにくいです。やはり、テーブルについて同じ目線で話した方が、会話がしやすいで
すね。

インプラント治療のカウンセリングでは、口腔内写真やレントゲン、模型を使って、現在の
状態から治療方法の提案、治療計画から予算の説明などを話していると、あつと言う間
に一時間ぐらゐすぐに経ってしまいます。

歯科の話をする事は、とっても好きなので私自身は苦にならないのですが、短い時間
かなりの情報量を話すため、患者さまが消化不良になってしまうのではないかと、いつも
心配になります。

でも、みなさん最後には笑って満足したように帰っていかれるので、ちゃんとお話が伝わ
っているようです(笑)。

こんな話初めて聞いた、今の歯科はこんなにも進んでいたんですねと、患者さんにビック
リされ、感謝されたりするととてもうれしいものです。

どんなに最新の治療法でもメリットとデメリットがありますから、どちらの面も正直にお話しています。

とくにインプラント治療は外科手術ですから、レントゲンやCTの詳しい検査、歯周病や噛み合わせの検診、カウンセリングの内容をふまえて、患者と一緒に治療計画をたてていくことが、当院の治療方針です。



② 総合力のある歯医者さん

たとえば、インプラントを行うにも歯周病にかかっているならば、先に歯周病を治療しなければなりません。せっかくインプラントを入れても、歯周病で骨がボロボロになってインプラントが抜けてしまえば、せっかくの治療が台無しです。

また、入れ歯の不具合は噛み合わせの問題なのか、歯肉の劣化によるものなのか、原因とその治療法はさまざまです。

患者さまに最良の治療法を提案するには、患者さまを苦しめている症状の原因は何かを把握することしかありません。そんな、どんな症例にも対応できる総合力をもった歯科医院でなければならないと考えています。

けれど、広く浅い知識と技術では総合力どころか、患者さまを不安にさせてしまうだけになってしまいますよね。

私自身は、国際インプラント学会、米国歯周病学会など、さまざまな治療分野の学会に所属し、休みの日には国内外問わず、講座や研修会に参加しています。

各種研修会への参加は、時間だけでなく費用もかかり、経営的にも大変な面がありますが、医院の利益はサービス、技術の向上という形で患者さまに還元するべきだと考えております。

簡単なことではありませんが、歯科医療全体を見渡し、いつも最良の技術を取り入れた「お口のエキスパート」として、どんな症例の患者さまも根本から治してさしあげたいと思っています。

新しい技術であるほど、その真偽は不確かなものです。

偏った知識や技術を習得するのではなく、患者さまの身体を第一に考えたとき、リスクがなく、患者さまにとってどんな治療が最適なのか、幅広い知識と、それぞれの治療分野における最新技術を習得し、総合的な観点から治療計画を立てなければなりません。

治療計画はあらゆる分野についての、深い知識が必要になります。

治療の結果はもちろん、患者さまの経済的なことも含めた計画立案が必要になります。

私の診療スタイルでは小さなむし歯であっても、総合的に原因を考える様にしています。

また、歯が痛くなくても予防治療に来ていただく、インプラントでも治療後は保険治療でメンテナンスを行う、そんな長いお付き合いのできる歯科医院であること。これもまた総合力のひとつだと考えています。

③ 医院はリラックス空間！

小さなお子さまから高齢者の方まで、当院の待合室は、予約時間より少し早く来たり、治療後もくつろいでいらしたり、治療がない日も遊びに来たりする患者さまで、いつも和やかな雰囲気です。

歯科医院独特の薬品のにおいや、無機質な空間では、歯医者に行くのがおっくうになってしまうのは当然ですよね。

当院はアロマの香りとやさしい色調の内装で、心地いいと思っただけの空間づくりを心がけています。

また、オペルームには人間工学に基づいてデザイン設計されたドイツ製のユニットを導入し、無機質にならないようやわらかな色調で手術への緊張感を和らげています。

治療計画はカウンセリングルームでプライバシーを守って、治療は最新技術でしっかりと、その他の時間はのんびりくつろいで頂きたいと考えています。

みなさんが歯医者に行くことが楽しみになる、リラックスして笑顔で帰っていける「癒しの歯医者さん」を目指しています。

私が大切にしているのはこの3つのポイントです。

いつも患者さまの視線を忘れずに、そして末永くお付き合いのできる、みなさんの「歯のパートナー」になれればと願っています。



～4章～
エピソード
患者さまの症例



● 症例1

<治療前>



<治療後>



インプラントの術前と術後の写真です。左前歯を補うため、1本だけインプラントにしました。

以前なら、部分入れ歯やブリッジに頼るしかなく、周りの健康な歯を削ったり、金属のバネが目立ってしまいましたが、インプラントなら健康な歯を傷つけることなく、見た目もきれいな仕上がりを実感いただけます。

● 症例2

<治療前>



<治療後>



この症例では前歯の歯並びを矯正で治した後、奥歯をインプラントにしました。お口を開けても治療したところがわからないほど、きれいに仕上がっています。自分の歯のようによく噛めると喜んでいただきました。当院では骨の量が少なかったり、質が悪くて通常の方法では出来ないような難しい症例にも対応しております。どうぞお気軽にご相談ください。

～プロローグ～ 終わりに



確か、小学校の低学年の事だったと思います。当時、大森の母親の実家によく行っていたのですが、当時まだ歯学部に通っていた、叔父の部屋によく遊びにいきました。

かなり男臭い部屋であり入れてもらえなかったのですが、男子がよろこびそうなかっこいいペンやナイフ、見たことのない面白いものがいっぱいあってワクワクする部屋でした。

そこで、叔父に「歯医者さんになってみない？」といわれ、叔父が大好きだった私は、元来根が単純なせいもあったのか、それ以来自分は将来歯科医になるんだという思いに...

20年後、気がついたら、歯科医師になっていました。

いろいろと紆余曲折もあり一筋縄では行かなかったのですが、周りに支えられてここまできました。

私はラッキーなのかもしれませんが、人の「思い」というのは強く願っていただければ本当に現実するのもかもしれません。

現在のインプラント治療は保険がきかず、医師としてはとても歯がゆい思いをしています。

せめて、保険でしっかりとした予防処置がきちんと受けられる体制を整えてもらえれば…と願っているのですが、現状では材料代、器具代、治療にかかる時間、その他もろもろの事を考えると、価格かかってしまうのが事実です。

でも、きちんとした治療計画を立てた上で治療を行えば、長期にわたって快適に過ごせることが可能な治療ですから、値段以上の価値はあると思っています。

食事、発音、見た目どれをとっても、人間として生活していくには、必要なものばかり。

そう考えれば、決してものすごく高い買い物でないのではないのでしょうか？

多くの歯でお悩みの方にインプラントに対する正しい認識が広まるよう、今まで以上に私も努力していきたいと感じています。

『失った歯を取り戻して、楽しい食事と笑顔が溢れた人生にしたい！』

あなたのそんな強い思いがあれば、いい医師との巡り合いが訪れ、きっとその夢は叶うはずです。私もみなさんの中のひとりの夢でも実現できたら、こんなに嬉しいことはありません。

みなさんが健康な歯を取り戻し、心から楽しめる人生を送れることを願っています。



ヨシダ歯科 院長 吉田松平

ヨシダ歯科

【住所】 〒146-0082 東京都大田区池上 1-8-12

【電話番号】 03-3751-4182

【休診日】 木日祝祭日

【診察時間】 09:00～13:00、15:00～18:30

【アクセス】

- 浅草線「西馬込駅」から徒歩 7 分
- 池上線「池上駅」ら大森駅行きバスで「税務署前」下車
徒歩 7 分
- JR「大森駅」から池上行きバスで「税務署前」下車
徒歩 7 分

